



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケーユーホールディングス  
 コード番号 9856 URL <http://www.ku-hd.com>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 恵博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 経理企画部長 (氏名) 長澤 伸二 TEL 042-796-5381  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	62,906	21.8	3,893	75.2	3,984	72.5	2,657	92.3
2021年3月期第2四半期	51,640	4.6	2,222	△16.5	2,310	△15.7	1,382	△23.0

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 2,685百万円 (87.2%) 2021年3月期第2四半期 1,434百万円 (△21.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	84.11	79.77
2021年3月期第2四半期	43.97	41.86

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	75,708	50,845	66.2
2021年3月期	74,822	48,834	64.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 50,125百万円 2021年3月期 48,115百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	31.00	41.00
2022年3月期	—	10.00			
2022年3月期（予想）			—	29.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	△1.4	6,000	△0.7	6,200	△0.8	3,900	0.3	123.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	44,126,024株	2021年3月期	44,126,024株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	12,296,460株	2021年3月期	12,601,460株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	31,596,231株	2021年3月期2Q	31,438,836株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を受け、経済活動や個人消費は制限された状況が続きました。ワクチン接種の普及など、経済活動の正常化に向けた動きが期待される一方で、変異株拡散による感染症再拡大が懸念されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

自動車販売業界におきましては、第2四半期までの軽自動車を含めた国産新車の総登録台数は、2,047千台となり、前年同期に比べ1.1%増加、軽自動車を含めた中古車販売台数は、3,215千台と前年同期比1.3%減少いたしました。また、外国メーカー車につきましては、新車登録台数は133千台と前年同期に比べ18.5%増加いたしました。

このような状況のもと、当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高は、前年同期に比べ11,266百万円増加（前年同期比21.8%増加）の62,906百万円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期に比べ1,671百万円増加（同75.2%増加）の3,893百万円となりました。経常利益は前年同期に比べ1,674百万円増加（同72.5%増加）の3,984百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ1,275百万円増加（同92.3%増加）の2,657百万円となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、営業利益合計と連結営業利益の差額は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に属するものであります。

（単位：百万円）

	国産車販売事業		輸入車ディーラー事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
当第2四半期	20,454	1,384	42,452	2,116
前第2四半期	17,095	991	34,544	1,128
増減率	19.6 %	39.5 %	22.9 %	87.6 %

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は33,489百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少いたしました。これは、主に有価証券が3,000百万円、商品及び製品が216百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が150百万円増加いたしました。現金及び預金が3,948百万円減少したことによるものであります。固定資産は42,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,036百万円増加いたしました。これは、主に有形固定資産が851百万円、投資その他の資産が356百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、75,708百万円となり、前連結会計年度末に比べ885百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は15,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,121百万円増加いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金が426百万円、その他流動負債が473百万円減少いたしました。1年内返済予定の長期借入金が2,020百万円増加したことによるものであります。固定負債は9,448百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,246百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金が2,247百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、24,863百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,124百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は50,845百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,010百万円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,657百万円及び剰余金の配当977百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.2%（前連結会計年度末は64.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月13日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,465	11,517
受取手形及び売掛金	3,083	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,233
有価証券	—	3,000
商品及び製品	12,743	12,959
仕掛品	142	237
原材料及び貯蔵品	343	363
前払費用	211	433
その他	1,653	1,749
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	33,639	33,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,898	11,796
機械装置及び運搬具（純額）	3,194	3,098
工具、器具及び備品（純額）	317	284
土地	22,143	22,615
建設仮勘定	469	1,079
有形固定資産合計	38,024	38,875
無形固定資産	473	301
投資その他の資産		
投資有価証券	1,350	1,391
繰延税金資産	469	584
その他	874	1,074
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,685	3,041
固定資産合計	41,182	42,219
資産合計	74,822	75,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,903	2,477
1年内返済予定の長期借入金	2,820	4,840
未払金及び未払費用	1,113	1,023
未払法人税等	1,282	1,377
賞与引当金	603	600
その他	5,568	5,095
流動負債合計	14,292	15,414
固定負債		
長期借入金	9,645	7,397
繰延税金負債	966	1,025
資産除去債務	466	487
退職給付に係る負債	148	63
その他	468	473
固定負債合計	11,694	9,448
負債合計	25,987	24,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	12,899	13,093
利益剰余金	39,397	41,077
自己株式	△4,508	△4,399
株主資本合計	47,888	49,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226	253
その他の包括利益累計額合計	226	253
新株予約権	719	719
純資産合計	48,834	50,845
負債純資産合計	74,822	75,708

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	51,640	62,906
売上原価	42,267	51,480
売上総利益	9,373	11,426
販売費及び一般管理費	7,150	7,533
営業利益	2,222	3,893
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	11	13
受取地代家賃	73	73
受取保険金	19	28
その他	25	19
営業外収益合計	131	137
営業外費用		
支払利息	16	13
貸貸費用	23	23
その他	2	8
営業外費用合計	43	46
経常利益	2,310	3,984
税金等調整前四半期純利益	2,310	3,984
法人税、住民税及び事業税	888	1,396
法人税等調整額	39	△69
法人税等合計	927	1,327
四半期純利益	1,382	2,657
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,382	2,657

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,382	2,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	27
その他の包括利益合計	52	27
四半期包括利益	1,434	2,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,434	2,685
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,310	3,984
減価償却費	1,126	1,016
のれん償却額	164	164
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△112	△71
受取利息及び受取配当金	△13	△16
支払利息	16	13
売上債権の増減額 (△は増加)	280	△150
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,735	△803
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,172	△426
その他	2,023	△646
小計	7,358	3,063
利息及び配当金の受取額	12	15
利息の支払額	△17	△14
法人税等の還付額	792	274
法人税等の支払額	△1,216	△1,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,929	1,693
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△3,000
投資有価証券の取得による支出	△100	—
投資有価証券の売却による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△2,011	△1,394
無形固定資産の取得による支出	△13	△2
その他の収入	79	74
その他の支出	△45	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,089	△4,401
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20	—
長期借入れによる収入	—	1,450
長期借入金の返済による支出	△1,752	△1,677
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△848	△976
その他の支出	△29	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,611	△1,240
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,228	△3,948
現金及び現金同等物の期首残高	9,951	15,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,180	11,517

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、売上高に計上しておりました手数料収入のうち、顧客以外から受け取る一部手数料については、売上原価の減額として処理しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ1,152百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	国産車 販売事業	輸入車 ディーラー 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	17,095	34,544	51,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	70	245	316
計	17,166	34,790	51,956
セグメント利益	991	1,128	2,120

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,120
当社とセグメントとの内部取引消去額	767
セグメント間取引消去	10
全社費用(注)	△676
四半期連結損益計算書の営業利益	2,222

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に属する一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	国産車 販売事業	輸入車 ディーラー 事業	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	20,454	42,452	62,906
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	20,454	42,452	62,906
セグメント間の内部売上高又は振替高	50	236	287
計	20,504	42,689	63,194
セグメント利益	1,384	2,116	3,500

(注) 「注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,500
当社とセグメントとの内部取引消去額	956
セグメント間取引消去	11
全社費用(注)	△575
四半期連結損益計算書の営業利益	3,893

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に属する一般管理費であります。